



所属

名古屋大学全学技術センター
分析・物質技術支援室
組成分析・構造解析技術グループ

勤務地 名古屋大学農学部質量分析室

職階 副技師

入職のきっかけ

大学院の入試前、アルバイトとして技術補佐員業務を経験した時に技術職員のことや業務内容を詳しく知るようになりました。その後勤めた民間会社では分析機器を扱う機会が思ったより少なく残念に思っていたところ、技術職員のことを思い出し、改めて大学という環境で研究に携わりたいと考え、入職試験を受けました。

一日の各作業のおおよその割合

依頼分析 (技術相談・試料調製・分析条件の検討・データ解析などを含む)	55%
担当装置メンテナンス(複数台)	25%
装置の学生対応、トラブル対応、事務処理	10%
その他	10%

1日の業務スケジュール例

8:30	● 出勤 メールチェック
10:00	● 依頼測定打ち合わせ (Zoom) 午後の分析準備
12:00	● お昼休憩
13:00	● 分析業務
16:00	● 後輩職員の様子見 分析の片づけ
17:15	● 退勤

分析装置は種類が豊富なので時には依頼の目的に合わせてどの分析を行うか考えます



分析のうまくいかない後輩と原因を一緒に考えます



活かせるスキル・身に着くスキル

〈活かせる〉

- ・化学が好き
- ・物質の変化について考えるのが楽しい

〈身につく〉

- ・分析技術
- ・分析装置のリアルなしくみが理解できる
- ・メンテナンス能力
- ・課題理解力、課題解決能力

技術支援室 関連資料

技術職員インタビュー

https://www.tech.thers.ac.jp/tech_staff_interview/staff04_ogawa/

ユーザー（教員・研究者）インタビュー

https://www.tech.thers.ac.jp/wp-content/uploads/2022/11/user_voice3.pdf